

# EDELWEISS

## 新年度の季節

会員の皆様は在外歴が長い方短い方さまざまだと存じますが、4月というと新学期、または新年度という感覚が身に染み付いている方が多いのではないのでしょうか。ヨーロッパの学生にとっては秋が学年の始まりですし、社会の会計年度も1月-12月制度なので、この4月が新しい区切りで「出会いと別れの季節」と感じるのには日本特有のものかもしれません。

3月20日の春分は簡単にいう「昼と夜の長さが同じになる日」であり、そこから6月の夏至までどんどん陽が長くなっていくので、4月はまさにこれから加速的に世界が明るくなっていくという期待を私たちにもたらしてくれそうです。日本企業と関わりのある方々はまさに新年度で繁忙期となり、日本人学校では新入生や進級の季節です。さらに皆様の中にはすでに夏の休暇の計画を立てて、飛行機チケットの値段をチェックしている方もいるでしょう。太陽の周りを公転している地球で暦を足がかりに生きて、さらに日本の文化的背景に後押しされ、スイス社会ではただ「春」と通り過ぎる4月は、私たちにとっては新しい一歩に感じられます。

そんな「日本人」ならではの感覚について考えていた先日、チューリッヒ中央駅の地上に出るための長いエスカレーターで、いかにも健脚の高齢者二人がエスカレーターの横を並走するような速度で階段を上るのに出くわしました。彼らの話に耳を傾けると、どこかの山はいつからハイキングできるかという話題で、これも春夏への期待感たっぷりでした。(MA)



## Ein neuer Schritt vorwärts

### 年会費お支払いのお願い

当会の活動は皆さまの会費に支えられています。お支払いがまだの方は、早急に年会費の振り込みをお願いいたします。JCZ 事務局

金融機関: Post Finance  
Zurich Nipponjin Kai, 8008 Zürich  
Postkonto: 80-9732-0  
IBAN: CH 19 0900 0000 8000 9732 0



**巻頭文** 『「日本が売られる」より見たスイス』 青砥 玄

**私のイチオシ、シェアします！ Vol.43**

『レバノンに行った気分になれるレストラン Le Cèdre』 JCZ新年会実行委員

**スイスの金融事情 Vol.5**

『資産形成への道 - 昔も今も (Vol.2)』 長田 忠雄

**建築散歩 Vol.31**

番外編その2 Granada to Ronda(グラナダからロンダへ) ユカ ロイバー

**KETTE Vol.176** 加藤俊介さん (Winterthur 在住)

JCZ 賛助団体 **Kowa Pharmaceutical Europe AG**  
(アルファベット順) **NIPPON EXPRESS (SCHWEIZ) AG**

**Kuoni Global Travel Services (Schweiz) AG / JTB Corp.**  
**Nishi Japan Shop / Japan Restaurant Bimi & Saku** **TOYOTA AG**

## 巻頭文

# 「日本が売られる」より見たスイスの強さ

青砥玄（会長）

私が最近読んで大きなショックを受けた本が、堤未果著の「日本が売られる」です。著者はシリーズでベストセラーとなった「ルポ貧困大国アメリカ」で一躍有名になりました。「日本が売られる」(幻冬舎新書2018)は、紀伊国屋書店・ウェブストアでは次のように紹介されています。

「水と安全はタダ同然、医療と介護は世界トップ。そんな日本に今、とんでもない魔の手が伸びているのを知っているだろうか？法律が次々と変えられ、米国や中国、EUなどのハゲタカどもが、我々の資産を買い漁っている。水や米、海や森や農地、国民皆保険に公教育に食の安全に個人情報など、日本が誇る貴重な資産に値札がつけられ、叩き売りされているのだ。マスコミが報道しない衝撃の舞台裏と反撃の戦略を、気鋭の国際ジャーナリストが、緻密な現場取材と膨大な資料をもとに暴き出す！」なかなか衝撃的な紹介文です。

「日本が売られる」の内容はともすると陰謀論などと片付けられ、なぜか既存マスコミがあまり注目、報道しない論点かとも思いますが、実際に読んでみると、どうして今までこのことを知らなかったのかと、大いに考えさせられ、何とかしなくてはと焦りさえ感じました。

内容の見出しを紹介すると、第一章「日本人の資産が売られる」では、「水が売られる(水道民営化)/タネが売られる(種子法廃止)/食の選択肢が売られる(遺伝子組み換え食品表示削減)/農地が売られる(農地法改正)/森が売られる(森林経営管理法)/海が売られる(漁協法改正)」などです。

こういった日本の現状は、知れば知るほど落ち込んでしまうのですが、同時に堤氏は最後の章で「売られたものは取り返せ」と題して、世界中で自然発生している希望的な動きも紹介しながら「反撃の戦略」も提示しています。その中に私達が住むスイスの例が「考える消費者と協同組合の最強タッグ・スイス」として紹介されていました。私も大いに同意しながら読みましたので、その部分を此処に抜粋して皆様にご紹介いたします。

### 自分たちの食料は自分たちで守れ！

2017年にスイスでは国民投票により先進国では初めて、「食の安全保障」を新しく憲法に書き加えたという事例が紹介されています。グローバル化の流れの中で、スイスは国家の独立性と中立性をいかに担保するかと苦闘していました。スイスでは10万筆以上の国民の署名が集まれば法的に拘束力のある国民投票が行われ、政府は投票結果に従わなければなりません。その結果に沿って憲法改正も頻繁に行われるため、スイス国民は常に主権者であることを意識させられるのです。そういった国民投票は3か月に一度行われており、まさに直接民主制の体制を今でも堅持している稀有な国家なのです。

ただでさえ人件費が高く農家の数も減っているスイスでは、政府が国内農業を手厚く優遇し、消費者は外国製品より割高な国内農産物を買うことで自国産業を支えています。これを面白く思わない西側諸国のマスコミはスイスのやり方を時代錯誤、閉鎖的、グローバル化に逆行すると批判し、スイスに自由化の圧力をかけました。農業はスイス人の食料だけでなく、環境や水資源、国境の安全を守る大切な第一次産業。外国に食い荒らされる前に手を打たなければならぬと、自由貿易による自国産業の弱体化を警戒した農家が立ち上がり、国民に呼びかけました。するとわずか3か月で15万人の署名が集まり、ついに農家主導の国民投票が実施されたのです。それにより憲法に書き込まれた食の安全保障は、「スイス国民に安定した食の供給を維持すること。農地を保全し、その地域の資源が最も生かされる形で食料を生産すること。フードロスを減らし、国際貿易は農業を持続可能な形で維持するように行うこと」など、農業だけでなくフードサプライチェーン全体に及ぶ内容です。食に関する国民投票にこんなにも国民の関心が集まった背景には、スイス国民独自の食育と協同組合のたゆまぬ努力があったのだと堤氏は指摘しています。

### 食育が国防意識を育てる

食を外国に依存するようになれば、経済的に恵まれているスイスのような国でも、外交交渉で不利になります。国防意識が高いスイス人はそのことを良く分かっているからこそ、大人だけでなく、子供たちへの食育にも熱心でした。なぜ国産農産物を守らなければならないのか？農家を守ると、スイスの美しい景観や、気持ちの良い環境が守られること、地産地消が共同体を守る仕組みについてなどの教育を受けた子供たちは、当然のように食料品店でも地産地産品を心がけ、近所の農家から直接、卵や野菜などを購入しています。

### 国民の8人に1人が生協に加入

地産地消の小規模農家を守る為には、彼らが熾烈な価格競争に巻き込まれない環境を提供する協同組合の存在が欠かせないと堤氏は指摘します。スイスでは国民の8人に1人が生協の加入者です。1975年時点の組合員が100万人を超えています。そこまで協同組合が信頼されている最大の理由は、徹底的に国産の農産物を扱うからだといえます。わずか0.7%の農業人口が作る農産物を守らなければ、イタリアやフランスなど周辺の農業大国から入ってくる安い農産物に負け、国内の生産者はすぐに潰されてしまうからです。

スイスには小売業全体の売り上げの半分以上を占める、大規模な二大生協があります。2001年に単一生協となったCoopスイスと、1925年に創業した後、1941年に株式会社から協同組合に転換したMIGROSです。MIGROS創業者のDutti夫妻は、経営者の利益より社会全体の利益を目指したいという想いから、会社を生協という形態に転換しました。国内の流通の7割を占めるこの二大生協は、スイス最大の雇用主です。ILO国際労働機関のデータによると、グローバル企業より協同組合が雇用する方が雇率は20%増えるとのこと。株主資本主義において労働者はコストとして判断されるので、株主の利益を出す為には削減の対象となるのでは真逆の考え方です。

### 金融危機でも生き残る最強の協同組合

スイスの大手銀行はUBS+クレディスイス、そしてライファイゼン協同組合銀行(ライファイゼンバンク)です。株主ではなく地域の組合員に共同で所有されているライファイゼンバンクは、顧客重視の経営をモットーとしています。株式会社と違い常に顧客兼オーナーである地域住民に監視されて透明性が保たれているこの銀行は、2008年の世界金融危機で他の銀行が大きな打撃を受ける中、唯一びくともしませんでした。さらに民間銀行に不信感を持った10万人近い顧客が先を争うようにして口座を解約し、ライファイゼンバンクに殺到。民間銀行から移された毎月10億フランという大金が当銀行の安定経営をさらに盤石なものにし、それ以来、370万人の顧客を抱えるメガバンクに成長したのです。持ち株の多いものが力を持ち企業利益の最大化をゴールとする株式会社とは対称的に、預金の残高に関係なく1人1票の議決権を持ち、民主的なやり方で経営方針を決めてゆく。リーマンショックから派生した世界金融危機で明るみに出た「今だけカネだけ自分だけ」というマネーゲームの犠牲になり、多くのモノを失った人々にとって、協同組合という形態は、新しい未来を照らす一条の光となったのです。

現在スイス国内にある協同組合の数は9,600。人口が10倍以上のドイツの協同組合数7500をはるかに超える共同組合大国となっています。ちなみに堤氏の指摘では、実は日本でも協同組合は我々が思っている以上に国民の生活を支えてくれているのです。全国の組合員数は6500万人。全人口の4人に1人が共済に加入し、全世帯の37%が生協を利用しています。全国35,600か所に店舗や施設を構え、16兆円という事業高を誇り、地方を中心に医療や介護、福祉に保育、保険や銀行やガソリンスタンドなど、生活になくてはならないサービスを安く提供しています。600兆円という農協の資金を狙うウォール街や、3800万人の共済加入者が欲しい外資保険会社は、日本に農協解体の圧力をかけ続けていますが、農協が解体されれば日本の地方は生活そのものが崩壊してしまうと堤氏は警鐘を鳴らします。

2018年4月、日本協同組合連絡協議会は、農協や生協や漁港など日本国内の全ての協同組合をつなぐ日本協同組合連携機構を立ち上げました。あらゆるものを商品にする「今だけカネだけ自分だけ」のビジネス論理の対極にある協同組合は、今後私達が売られたものを取り返し、国の未来を守る為の重要なツールになるだろうと堤氏は指摘しています。

10年ほど前、当時の国税庁の駐在員高田氏から、スイスの企業経営者が政府に対してどう思っているか聞きたいということで、弊社(Emil Frey AG)の社長を紹介して会食をしました。その中で社長から「スイス人は、自分が収めた税金をどのように使うかを決めるのは私達自身だと思っている」と言った発言がありました。これは一例にすぎないかもしれませんが、日本とスイスでは国の規模や文化、制度の違いがありますが、スイス人の持つ意識の高さに感動し、羨ましいとすら感じた次第です。誰かに自分を委ねるのもある意味悪くはない(案?)かも知れませんが、自分の頭で考える努力は決して怠ってはならないと思うのです。

ご意見ご質問は青砥まで  
gen.aoto@toyota.ch



# PICK UP

43

## 私のイチオシ、シェアします！

レバノンに行った気分になれる  
Restaurant Le Cedre — Zurich

JCZ新年会実行委員



Restaurant Le Cedre

今年も皆様にお楽しみ頂いた新年会が終わり、次回への改良のためにも実行委員8名がレバノン・レストラン Le Cèdreに集まりました。

全員がこのレストランを気に入り、皆様にもシェアしたくなったので、今回は8人一緒に「お勧め」します！

今回の幹事Mさんが手配してくれたのが、ベルビューから中央駅の方へ歩くとすぐに右手に見えてくる小さな広場にある Le Cèdre Bellevue (Schiffplände 5, 8001)。そのほかに、Badnerstrasse店、Nüscherstrasse店もあり、店によって週末の夜にはベリーダンスも見られるとか…。事前にチェックしてみるといいかもしれません。

今回はランチだとお得な価格で食べられるコース料理Mezzehの4人用x2を注文し、14皿も試すことができました！！2人用のもあるそうです。そして夜には3人用の10皿コースも、5人用のものもあるということです。

レバノン料理に、どんなワインが合うか分からなかったので、店員さんに「このコースに合う白ワイン」と頼んだら、シェリーのような濃厚なレバノンワインを持って来てくれました。その風味がエキゾチックな気分を盛り上げてくれて、その後のお料理への期待がどんどん高まります。



そして登場した14皿が所狭しと並べられていくのは凄いです！

茄子やトマト、アーティチョークとか美味すぎ！豆のペースト状になったフムスにもつつい手が伸びます。味付けもバラエティに富んでいるので、飽きません。それぞれをピタに挟んでいただきました。包む間もなく、乗せて食べている人も…！野菜中心の料理の数々は、日本人好みの味わいでした。

なんと言っても、沢山の料理を少しずつ味わえるのが嬉しく、みんなでワイワイできるのも魅力です。

中にはレバノンに行ったことのある人もいて、現地での話を聞いていると、見知らぬ国のオリエンタな風情が見えてくるようです。フランス領だったことから、今もそ



の影響が色濃く見えるという話に、イタリアっぽい雰囲気食材の理由が分かりました。フランス料理はイタリアのカテリーナ・ディ・メディチが伝えたということですから…。アーティチョークが丸ごとでくるんですよ～！

すっかりレバノンに行った気分になり、沢山食べましたが、食べきれなかった…。白いテーブルクロスも美しく、窓越しに見えるリマツ川の上に広がる晴れた空の青と見事に調和して、南国情緒を醸し出していました。

家族や友達ともまた来たいと思います。

Le Cèdre Bellevue  
Schiffplände 5, 8001 Zürich  
+41 44 252 83 70  
他店はサイトにてチェック！  
<https://libanesisch.ch>



## GlobAS Relocations Europe GmbH

スイスからのお引越はグローバスリロケーション ミュンヘン支店にお任せを！創業20年以上、8名の経験豊富な日本人スタッフによるお引越サービス。ビデオ下見からの見積り作成(無料)が可能となりますのでまずはお気軽にご連絡ください！



HP: <http://www.globas-relo.com>

Email: [zurich@globas-relo.com](mailto:zurich@globas-relo.com)

Tel: +49 (0) 89-189-386-21 (日本語直通) 担当: 三嶋

## 大使館からのお知らせ

### 領事出張サービス

2024年5月 チューリッヒ

日時：2024年5月4日(土) 10:00 -12:00, 13:00 -15:00

場所：チューリッヒ日本人学校日本式2階音楽室

住所：Florastrasse 18, 8610 Uster

申込締切：2024年4月18日(木)必着

また、旅券の更新は、オンライン申請できるようになりました。

詳しくは在スイス日本国大使館HPをご覧ください。下にあるQRコードからどうぞ。

3月11日(月)頃から4月12日(金)頃の期間は、イスラム教のラマダン月及びラマダン明けの祭り(イード・アル・フィットル)に当たります。上記期間中やその前後はテロの脅威が高まる傾向があります。特に、今年はイスラエル・パレスチナ情勢を受け緊張が高まっていることに留意する必要があります。



EMBASSY  
OF JAPAN  
IN SWITZERLAND

# スイスの 金融市場

Vol.5

長田 忠雄

## 資産形成への道 — 昔も今も (2)

日本では今年から新NISA (非課税貯蓄制度) が始まりました。「貯蓄から投資へ」という掛け声はもう何十年も前から言われてきましたが、ようやく投資への姿勢が国民の間に定着するのでは、という期待が高まってきているのは結構なこと、、、と言いたいところですが、何でもまた今頃になって盛り上がるのかね〜、というのが

私の本音です。大体、個人金融資産の大半 (7割以上) が現預金という構成比率は半世紀以上も変わっておらず、いろいろな理由があるにせよ国民の現金志向はそう簡単には変わるとも思えません。投資というリスクを伴うものに虎の子を振り向けるには、NISAのような単なる税制優遇だけの制度では限界があるというものです。

岸田政権が掲げたこの投資優遇制度も、投資運用先進国ともいべき英国の投資優遇制度ISA(アイサという)の枠組を真似たものですが、まあやらないよりはいいだろう、程度の制度です。かの英国の投資促進制度はもっと徹底していて、投資信託口座に年4,000ポンドを上限に入金すれば、入金と同時に1,000ポンド(つまり投資額の25%)が自動的に増え5,000ポンド(約95万円)の投資資金から始められる、という制度です。この25%分はHM Treasury(つまり英国政府)が援助しています。こういうインセンティブがあるなら、株式投資は初めてという人でもじゃあやってみるか、という気になるでしょう。岸田政権もどうせ真似るならここまで真似てやってみよう、と言いたくなりますが、まあドケチ財務省の目が光っているからそこまで踏み込んではいけません。こんな英国の制度は日本のメディアはまず報道しないから大半の日本人は知る由もなく、新NISAは素晴らしい制度だ、岸田さんもなかなかやるじゃない、なんて称賛しているわけです。

英国では本来、こんなISAなんかなくても、資産運用先進国として伝統的に19世紀初頭から積極的な投資が海外を中心に盛んだったわけで、国民の投資マインドには定評があります。そういう投資へのメンタリティーに加えて若年層の資産形成のため、株式投資や住宅取得を国が惜しみなく援助しているのです。付け焼き刃の日本とは全く違いますね。

そもそも個人資産の7割以上を現金で持った結果としても、「日本の個人金融資産は既に2,100兆円を超え、アメリカに次ぐ世界第2位の金持ち国だろう」という人がいるかもしれませんが、日本と真逆の金融資産構成で7割以上を株式投資等に振り向けるアメリカの個人金融資産は110兆ドル(1京6,500兆円)と、日本とはとんでもない差ができています。失われた過去30年の間にも、日本の個人金融資産は倍に増えましたが、アメリカは7倍も増えているのです。この差は、いうまでもなく株式市場の恩恵を受けたかどうか、という差に起因します。日本の株価指数(日経平均)はようやく34年前の高値を抜きましたが、この間アメリカのダウ平均は14倍にもなっており、如何にアメリカ国民が株高の恩恵にあずかったか、ということに尽きます。

現金の長期保有と、投資に振り向けた場合との差は歴然としており、資産形成におけるその効果は疑う余地もありません。しかし現金志向を投資に振り向けさせると言っても、長年染み付いた保守的な脳味噌はそう簡単には変えられません。ではどうするのが良いか。極端なことを言えば、もう食わせるしかないと言わざるを得ません。英国のようなISAでもあればいったん投資信託を食ってみて、そのうち投資に慣れるということもできますが、運用後進国の日本では仕方がないから新NISAで投資信託でも買って、それを契機に本格的投資の道に進むという道しかないでしょう。幸にして新NISAの立ち上がりは上々で新規資金も予想以上に入金が続けられているようです。岸田政権が掲げる「資産運用立国」の実現に向けて待たなすです。

(以下次号)

### REPORT

#### ポシャギ講習会レポート



チューリッヒに来ては4か月、初めてポシャギ講習会のイベントに参加させていただきました。オクサという、張りのある絹の布を使ってモビール作成です。ちゃんと針を使うのは何年ぶり? わずかな不安と大きなワクワクを胸にトラムに乗って初めての場所へ。Seika先生のもと、縫いはじめるとコロんとした形ができていくのが楽しい! 糸の色によっても表情が変わります。手を動かしながら、もちろんお話もはずみあというまに時間に。それぞれオリジナルの可愛いモビールができました。火がついて帰宅後も続きを作成。中に鈴を入れて飾ってみたらやわからいモビールの雰囲気になりました。春一番が鈴を鳴らすのを楽しみに待とうと思います。(K.O.)

### BULLETIN BOARD

#### 日本の音楽—日本の魂コンサート

若いエネルギーと卓越したテクニックで、伝統日本とモダン日本がコラボする  
津軽三味線: 深田 勇馬

パーカッション: 飯野 智大  
5月18日(土) 11:00  
Lavaterhaus, St.-Peter-Hofstatt 6, 8001 Zurich  
大人30Fr 学生25Fr  
子供(12歳まで) 20Fr

チケット: 下記メールまたはサイトにてお買い求めください。  
yuma.shamisen@gmail.com  
www.sakura-kai.ch  
酒井

#### 三味線ワークショップ

日程: 5月17-20日 日時要相談  
場所: チューリッヒ市内  
講師: 深田 勇馬  
yuma.shamisen@gmail.com  
酒井まで (ポツィーニ)

## チューリッヒ日本人学校 補習校事務募集 2024年10月より

### 【募集要項】

- ・ PCの知識がある方
- ・ コミュニケーションを大切にし、協働できる方
- ・ 労働許可をお持ちの方に限ります
- ・ 主に、土日勤務

履歴書(写真付き)をお送りください。  
募集の締め切りは2024年4月末日です。  
書類選考の上、追って面接日を通知いたします。  
お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

問い合わせ先: hollenstein@jpsz.ch

P3でもお知らせしたように、この4月号が届く頃、ラマダン前後の緊張期真っ最中です。そこで去る2月29日に行われた、スイス及び近隣地域の在留邦人対象安全対策セミナーをレポートしようと思います。

「ベルンは遠いし、大使館に行っても場違いだと恥ずかしいからオンラインで参加しよう!」と思っていたところ、チューリッヒのプライムタワーの隣に聞き、早速取材に行ってきました!

対面参加者88人、オンラインはなんと南米からの参加者も合わせて143人ということでした。

2004年から世界各地で開始されているこのセミナー、スイスで開催されるのは今回が初めてです。「そんな初開催地に選ばれてラッキー!」…いえいえ、そんな甘い話ではないのです。その理由を外務省領事局邦人テロ対策室の尾谷幸太氏が説明して下さいましたので、皆さん、肝に銘じて下さいね!

「開始当初はダッカやアルジェリアなどで起こった組織化されたテロへの対策が目的だったけれど、時代は移り、今はインパクトを与えるための単独犯などがテロを仕掛けているため、どこにいても巻き込まれる可能性があります。そして『スイスは安全な国』と思われていますが、『変な人』はスイスにもいるのです。それなのに、安全な日本から安全なスイスにきた我々は、実は危険を察知、自己防衛する事に慣れていないのです。実際、犯罪率は東京や大阪の10倍も!男性の拳銃での自殺率は米国に次ぐ2位。あ〜、怖くなってきた!

でも怖がっていてもしょうがない!今回のセミナーに出られなかった皆様にも、知っているだけで自分の安全が守れる確率が上がるお得情報を少々伝授致します!

「音に気付く」ことは大切です。ヘッドホンなどで聴覚を遮らない。建物の中では出口を確認する。危険な侵入者が入ってきたら、逃げる(低い姿勢で)+隠れる(ガラスからは離れる)+通報する。ホテルの部屋の中で銃声を聞いたなら、鍵のかかるバスルームなどに逃げる。バルコニーは、外から侵入して来る可能性が高いため、また爆発時には破片が飛んで来るためNG。



イメージして肘と膝で前に進むのです。さあ、皆さんもお家でもやってみましょう。



「外務省主催安全対策セミナー 体験レポート」

次に、刃物で襲われそうになった場合。

①首を保護。②前屈み。③肋骨を狭める姿勢で体の9箇所の危険部位を守る。鞆などがあれば、それを盾にして、相手を押し戻す感じで刃物を持っている手より体の外側(コールドゾーン)に逃げる。これも皆さんでやってみましょう!

その他に、テロ以外でも、誰でもやってしまいそうな危険な行為にも注意を促されました。

- 1) 公共交通機関のドア付近で携帯電話などに集中していると、鞆を引たくられ、犯人は車外に逃亡できる
- 2) 車の窓を開けて携帯を見ていると携帯を引たくられる → もし取られても車外には出ない
- 3) 車内に高級バックなどを置いておかない
- 4) 歩きスマホしない
- 5) 公道で車のトランクを開けたまま、道を聞かれると、対応中に共犯者がトランクの中の鞆を盗む
- 6) バイクの2人乗りは犯罪者の可能性が高いので気をつけ、車の乗り降りは迅速に。車を全開にしておく、銃を突きつけられ、カージャックされて、ATMまで連れて行かれ、1日の最大引き出し額を下させられる。日付変更線を超えて、2日分取られた後に解放される手口もある
- 7) 空港ではなるべく早くパスポートコントロールを通過して安全地帯に行くようにする
- 8) ホテルのロビーにも長居しない

最後に市内でテロが発生した際、その現場近くにいる予定の大切な人と自分をどうやって守るか、シミュレーションしてグループワークをしました。

重いけど、大切な事を習った充実感の後は、チューリッヒ日本商工会(JCCIZ)主催、在スイス日本国大使館と我がチューリッヒ日本人会も協賛したネットワーキング・レセプションで緊張を解きほぐしてもらいました。

会場を提供して下さいましたErnst Young社のビルを出ると、すっかり暗く、でも、いつもの平和なチューリッヒの風景で、まるで危険な国にワープした後、戻って来たみたい、防衛本能が磨かれた自分が、確かにいました!

これは、また是非開催して欲しい企画です!次回は、バーゼル、ジュネーブ、ローザンヌでも開催を希望しているそうです。チューリッヒでもまた、会場が見つければ開催して下さい。前述の尾谷氏も「また何か新たなイベントができないか、東京の外務省と議論」して下さい。

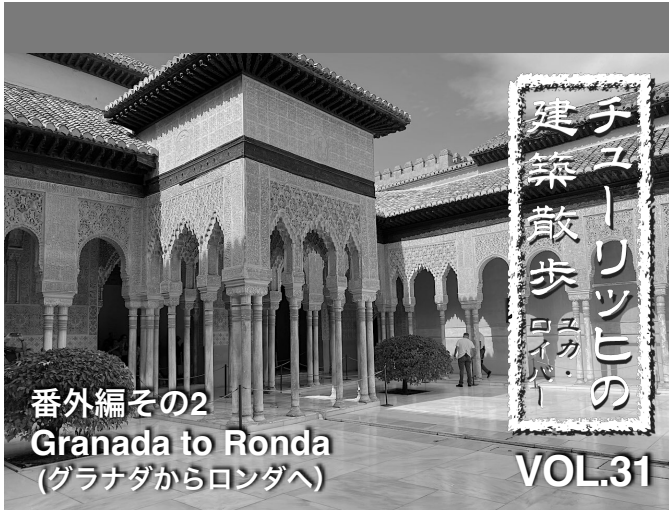
「備えあれば憂いなし」最低限、自分で自分を守るような知識を磨いていきたいですね!

最後に安全対策をゴルゴ13の作者に頼んで1冊のマンガにした本をセミナー受付で戴くことができました。参加できなかった方、参加したのにもらいそびれた方、EDELWEISS編集部までご一報下さい!

Youtubeでもアニメ版が観られるそうです。



HPはこちら



建チ  
築  
散  
歩  
ロイバ  
ムク  
の  
ツ  
リ  
ッ  
ヒ  
の

番外編その2  
Granada to Ronda  
(グラナダからロンダへ)

VOL.31

逃げる女を男が追いかけるのは恋愛の常だが、建築に関してもこのことは当てはまる。美しい建築物があり、見学するのは至難の技となると、建築家魂がとことん燃えるのだ。

ユネスコの世界遺産に指定され、観光客の絶えないアルハンブラ宮殿の入場券を予約せずにグラナダに入るなかれ、とでも書きたいぐらい、このチケットの入手は困難を極めた。しかし一緒に旅行する友人のアルハンブラ宮殿への思いは熱く、グラナダ滞在の最終日、まだ暗い朝5時に当日券を求めて彼女は一人で宮殿への道を急いだ。「やはり当日券は入手できず」とのSMSが来て、朝の7時に私は眠気まなこを擦りながら、再びネットでガイドツアーの空きがないかを探した。すると天に思いが通じたのか、二人分仏語のガイドツアーのチケットを入手することができた。入場券は3人分はなかったため、残念だが彼女の息子に自由行動をお願いして、二人は思わずスキップしながらアルハンブラへの道を急いだ。

ここで、グラナダを中心とするスペイン南部の中世の歴史を少しおさらいしておく。8世紀初頭、北アフリカのイスラム人勢力がスペインのイベリア半島に上陸して、半島の北部分を除いたほぼ全域を掌握した後、10世紀初頭にはコルドバに新しいイスラム国家を建設後、この土地でのイスラム文化の最盛期を迎える。



Alhambra

しかし11世紀に始まるレコンキスタ\*により、カトリック教徒の攻勢を受けて、グラナダ唯一のナスル朝がイスラム文化の最後の砦となる。1469年にカスティリアの女王イザベルとアラゴンの王子フェルナンドが結婚し、両国が統一されてスペイン王国が設立。1492年にグラナダが陥落して、イスラム勢力は北アフリカに後退し、イベリア半島のレコンキスタが完了する。シエラネバダ山脈を背景にした丘陵の頂上、グラナダの街を望むアルカサバと呼ばれる砦がイスラム勢力により9世紀の初め頃建設されたのは、こういふ軍事的な背景があった。

さて、私たちの参加したガイドツアーは、宮殿への中央入口からヘネラーリーフェ(Generalife)と呼ばれる夏の宮殿、アルカサバ(Alcasaba)、そしてナスル朝宮殿の順に回るらしい。細い水路と噴水の両脇に、緑の生い茂る広い庭園を進むと、ごちんまりとしたアラブ風の宮殿の姿は楽園そのもの。この庭の巨大さと美しさは他でも見られない規模だ。何よりこの高台から見れる街や周辺の緑の風景は、ルネサンスの絵画の背景のような完璧さで、城壁の隙間や、アーチ型の開口部より見ることができた。宮殿内部の、回廊部分のアーチ型の開口部や窓、その周りの壁や天井に施されている幾何学の透かし模様の緻密な美しさは、何度写真に収めても足りない気がした。

アルカサバの赤っぽい左岸の遺跡と塔を散策した後、いよいよツアーの目玉であるナスル朝の宮殿へ。この宮殿建物は、3つの部分(メスアール宮、コマレス宮、ライオン宮)より構成される。宮殿の奥に進むにつれ、空間の装飾の複雑さ、技術も徐々にレベルアップしていると思えるほど、イスラム建築のディテールの美しさに息を呑む。円と正方形をベースに、多角形の複雑な幾何学模様を構成するタイルが敷かれた壁、木の天井の幾何学模様の彫り物、中庭空間を囲む外部の回廊の細い列柱の頭部分に施された植物や花の模様に見える幾何学の透かし模様。とりわけ私たちが虜になってしまったのは、ライオン宮にあった星型の天蓋がついた空間で、何度も上を見上げて構造や模様を理解しようとするのだが、天井の装飾の幾何学模様は無限に細くなる様子を、夢中で写真に収めた。八角形の星型の天井ドームから鍾乳洞のように垂れ下がる部分は、それ自体がミニドームの立体的な形で、この空間はイスラム建築の最高傑作なのではないかと思えた。パルセロナで見たガウディーの作品も有機的曲線の複雑さに驚いたが、このアルハンブラ宮殿の装飾をデザインして施工した人々のアイデアと技術を考

えると脱帽する思いだった。コンピューターもコピー機もない800年前のイスラム人の職人の数学、特に幾何学に通じる技術の高さは驚異的だ。イスラム人は占星術にも詳しいのは有名だが、この建物への光の入りを計算して時計の役割もする建築は、彼らの技術と知識の高さを物語る。

本来なら90分のガイドツアーの後は自由に庭を散策できるのだが、私たちの予約した列車の時刻が近づいている。宮殿の出口でタクシーを捕まえて、鉄道駅に直行する。友人の息子は既に駅に着いて、ママ達おそい、と文句を言われたが、無事に次の目的地コルドバ行きの列車に乗れた。

コルドバ(Cordoba)では、巨大なモスクであるメスキータ\*\*を訪ね、数えられないほど多くの赤白の縞々アーチ部分が美しい列柱が、巨大な空間に連なる様を見た。旧市街を歩き、チュロスを食べながら川沿いを歩いた。コルドバもまたイスラム風の建物や土産物屋で溢れていたが、グラナダよりも人は少なめで落ち着いた観光できた。

コルドバからは長距離バスに乗ってセビリア(Sevilla)へ向かった。この街はスペイン南部アンダルシア地方の州都で、大きく現代的な印象だった。ここでもイスラム文化の影響は色こく見られたけれども、よりカトリック的な要素や建築が多い印象だった。



Cathedral Sevilla

中世で時計が止まっているようなグラナダとは違って、モダンなこの街の広場の中心にはドイツ人の建築家\*\*\*が計画した巨大なキノコのように空高く聳える木のストラクチャーの建築が目をついた。また街の中心に立つセビリアの大聖堂\*\*\*\*は見事なファサードを持つ高い鐘楼が美しく、しばし歩みを止めてスケッチを試みた。友人の息子は、セビリア最終日にサッカーの試合を観戦し、最後に3人でふんだんな海鮮料理でセビリアの夜を締めくくった。このアンダルシア旅行の最終地は、マラガに近い小さな街ロンダで、かつて小説家ヘミングウェイがここに逗留して、闘牛についての小説を書いたことでも有名である。友人親

子はひと足さきにバスで出発し、私はセビリアで王室の宮殿(Real Alcázar)\*\*\*\*\*を見学してからお昼過ぎに出発した。

ロンダの街は、海拔739mの断崖絶壁の台地上にへばりつくように家々が連なる風景が印象的だった。台地の周りは乾いた土地と緑のオリブ畑が続く。街の中心にあるヌエボ橋からは、谷底が遙か下に垂直に広がるのが見えた。あいにく小雨と強風に見舞われ、橋の上で記念写真を撮るのに一苦労したが、10日間に及んだアンダルシア旅行は無事に3人で終わることができ、再びマラガからチューリッヒ行きの飛行機に乗った。

©2013 Yuka Räuber

- \* Reconquista (レコンキスタ) とは、イベリア半島におけるカトリック教徒の国土回復運動のこと。
- \*\* Mezquita コルドバにあるスペインに現存する唯一のモスク建築で、数万人収容可能。現在はカトリック大聖堂。mezquita-cordoba.com
- \*\*\* Setas de Sevillaは2004年に行われた国際コンペで65の応募案からドイツ建築家Jurgen Mayerの作品が選ばれた。setasdesevilla.com
- \*\*\*\* Cathedral de Sevillaはモスク跡地に建てられたので、平面構成は普通の教会と違い、十字の形ではない。1248年にセビリアはカスティリア王国に征服されて、レコンキスタの一環で大モスクはカトリックの大聖堂に建て替えられた。
- \*\*\*\*\* アルカサルはスペイン王室の宮殿。14世紀にカスティリア王ペドロ一世の命令により建設された。アルハンブラ宮殿を模した構造で、15/16世紀にも増築されたため、ゴシックとルネサンス様式が混じる。



4月イベント **Kunsthaus**

「ビュールレ・コレクション展示室」ガイドツアー

昨年11月に再オープンしたビュールレ・コレクション、エーデルワイス2月号に掲載された柿沼さんの「美のプリズム」に紹介されていました。今まで単に素晴らしい美術作品として鑑賞してきた作品の来歴にフォーカスした展示となっています。パウルクレーゼンター研究員の柿沼万里江さんの解説で改めて作品への理解を深めたいと思います。ガイドツアーの後にランチも一緒にできる方はその旨もご連絡ください。

日時：4月17日(水) 11時 -

集合場所：Kunsthaus Zürich 新館(Chipperfield)入り口

<https://www.kunsthaus.ch/>

定員：20名

入館料：開催日が水曜日なので、Sammlungの入場料は無料。

Kunsthausのパスのある方、ICOM会員はほかの展覧会も無料。

\* 4月12日(金)までに、JCZ HPイベント申込フォームより、またはメールでkikaku@japanswiss.chまでお申し込みください。

アフタヌーンカフェのお知らせ

一斉に花開く春ですね。お出かけのついでにおしゃべりの輪に参加しませんか。いつものようにJelmoliのカフェでお待ちしています。

日時：4月11日(木) 14:00-16:00

場所：チューリッヒJelmoli 3Fのレストラン

申込：JCZ HPイベント申込フォームより、またはメールでkikaku@japanswiss.chまで

「チューリッヒ 妊娠と出産 ハンドブック」

言葉も医療制度も違うスイスでの妊娠・出産に戸惑いや不安を感じている方のために、専門家による詳細な説明やアドバイス、様々な資料や体験談など役立つ情報を集めました。詳細はJCZ HPでどうぞ！



JCZ会計係より寄付金振込終了のご報告

この度は寄付金への御協力をありがとうございました。Kinderspitalへは93Fr、石川県令和6年能登半島地震災害義援金へは4718Fr(新年会598Fr+寄付金振り込み4120Fr)を、チューリッヒ日本人会 Japan Club Zurichの名前で送金させていただきました。皆様の心温かい御協力に感謝申し上げます。

Events & Festivals  
チューリッヒ近郊  
お出かけ情報

(URLの詳細は、HP: japanswiss.ch上の「チューリッヒ近郊お出かけ情報」をご覧ください)

\*カフカ没後100周年記念展示会

5月12日12時~(週末は11時~)

Strauhof Zürich Augustinergasse 9, 8001 Zürich

「1924年6月3日に亡くなったドイツ人作家フランツ・カフカの作風や人生、作品や影響を展示」

<https://zuercher-museen.ch/museen/strauhof/kafka-tueren-tod-texte>

イースター

\*マーケット&移動遊園地 Zug

4月1日(月) 9時~18時 Landsgemeindeplatz

「湖畔の遊園地と60店舗のイースター・マーケット」

\*「Zwänzgerle」Zürich 4月1日(月)

Rüdenpl. 8001 Zürich

「18世紀から続くイースターの慣習で、子供の持っているゆで卵に大人が20ラッペン玉を投げ、刺さったら両方大人の物、床に落ちた20ラッペン玉は子供の物になる」

<https://www.zuerich.com/de/besuchen/zwaenzgerle>

\*第3回Terroir Zürich

4月6日 Mühle Tiefenbrunnen

Seefeldstrasse 219 8008 Zürich

「チューリッヒ湖に臨むワイン畑の ワインが美味しいおつまみと共に試飲できる」

<https://www.terroir-zuerisee.ch>

\*コミック~マンガ ワークショップ

4月8日(月) 9時~10時半

Stadtbibliothek Baden Mellingerstr.19 5400 Baden

「9歳から、マンガのキャラクターを描く技術を一歩一歩学べる」

<http://www.stadtbibliothek.baden.ch>

\*現代アート見本市 第2回『art3f』

4月12~14日

Messezentrum Zürich Wallisellenstrasse 49, 8050 Zürich

「150の国際的アーティストやギャラリーが、2500点以上を販売」

<https://www.art3f.fr/zurich/>

\*Oliviero Toscani 写真展

4月12日~9月15日 10時~

Museum für Gestaltung Zürich Ausstellungsstrasse 60, 8005 Zürich

「写真と挑発...確かに最大の挑発のだけと美しい...」

\*猫の展覧会 4月20、21日10時~

Stadthalle Dietikon Fondlistr.15, 8953 Dietikon

「200種の猫が勢揃い。猫の心を動かす物を揃えたショッブもあり」

<https://www.ffh.ch>

\*Japan Food Fest

4月27、28日11時~

Burgbachsaal Dorfstrasse 12, 6300 Zug

<https://japanfoodfest.ch/>

Music Recommendation  
おすすめ音楽情報

\*チューリッヒ歌劇場

Falkenstrasse 1, 8008 Zürich

《カルメン》Falkenstrasse 1, 8008 Zürich  
4月7、10、12、14、19、21、24日

オーケストラ コンサート

4月14日(日) 11時15分~14時 R.シュトラウス(作曲)、ジャンドレリア・ノセダ(指揮)、ディアナ・ダムラウ(ソプラノ)  
《ニーベルングの指環》~《ラインの黄金》  
4月20、27日

\*トーンハレ Claridenstrasse 7, 8002 Zürich

ルドルフ・ブッフビンダー モーツァルトを弾く 4月10、11日19時半~

・オーケストラ・モーツァルト ツアー 4月15日19時半~

・ベートーヴェンも ガッティ指揮

・ユッセン兄弟 モーツァルトを弾く  
4月25、26日(木) 19時半~ デ・フリント指揮

\*Conference Musikfest

4月11~13日

「世界的有名なピアニスト小菅優と当会会員の坪井悠佳さん他が登場する13日がお勧め！」

\*フランク・マルタン 没後50周年記念コンサート

4月13日17時~19時

Fraumünster Kirche Stadthausquai 19, 8001 Zürich

### 加藤俊介さん (Winterthur 在住)

#### ご出身は？どんな所？

三重県伊勢市に生まれ、愛知県春日井市と兵庫県西宮市で育ちました。御存じですか、今年(西宮にある)甲子園球場では100周年を迎えます。今から100年前、そこで祖父が木に登って野球をみていました。(今、大谷翔平選手のような日本人野球選手が大活躍されていますね。)

#### スイスに来るまでのお話/お仕事は？

日本からスイスに来る御縁は「水素」でした。(今、流行りの「水素」です。)日本とスイスの大学および研究所で水素エネルギー分野の研究に従事してきました。今もこの分野で、チューリッヒにあるエンジニアリング・コンサルティング会社で働いています。僭越ながら、今、「脱炭素」「グリーン」「SDGs」といった取り組みは、日本人の(本来の)自然観を持って、一国の安全保障と経済成長の視点から見直されるべきだと思えてならないです。(そのためにも、みなさん、わたしたちの遺伝子のなかに入っている祖先からの記憶をよみがえらせましょう。)

#### スイスにいらしてから/スイス生活は如何ですか？

さて、スイスに来て10年くらい経った頃、帰国時に魚介類にあたりました。(恐らく、貝のお刺身に。それは弟の結婚式の前日でした。)人間は腸内細菌と共生して

います。その腸内細菌の重さは約1キロです。最近では、こう長くスイスで暮らしているうちにお腹が馴れて、腸内細菌が入れ替わり、そろそろある程度現地化したかもしれません。わたしたちの嗜好も変わりますね。お気を付けてください。

昨年今年とJCZ新年会および昨年のリトム湖ティチノー泊ツアー(魚釣り・ハイキング・キャンプファイヤー)ではお手伝いさせていただきました。下の家族写真は昨年の一泊ツアーのときにOさんに撮っていただきました。自他一如、御参加されたみなさんが元気づけられました。ありがとうございます。御縁あってJCZハイキングの会「歩こう会」にも参加しております。御陰様でこういった機会にみなさんと御一緒させていただき、いつも心が清々しくなります。



令和5年7月1日リトム湖にて

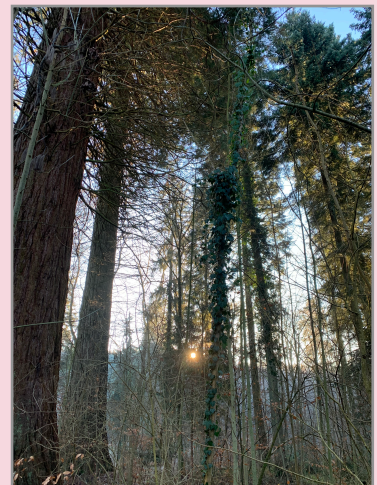
わたしたちはウィンタートゥール(Winterthur)にある乳幼児の会「おにぎり」に参加しております。週一回5人から10人くらいの親御さんとその4歳までのお子さんたちが集まります。例えば、先月は節分のお面を親子一緒に作りました。わたしたちは、親から子へ、親から親へ、子から子へ、また子から親へ、と教え合い学び合い助け合います。小さな子どもの何気ない言葉に、わたしたちは大事なことを教えられるときがあります。そんなとき、小さな子どものほうが真実の世界を見ているような気がしてならないです。おにぎりのことを「おむすび」と言います。これも実は同じで、「お

むすび」は一つ一つの小さな米粒という「いのち」が一つにむすばれて、大きなのち「おむすび」(おにぎり)になるということです。(影山正治氏著『神話に学ぶ』)「いただきます」「ごちそうさまでした」、「おにぎり」の会で毎週月曜日ウィンタートゥールで小さな子どもたちに、大和心が伝えられています。(おにぎり連絡先: jsgwinterthur@gmail.com)

#### 会員の方へのメッセージ

日本には8万社を超える神社ありますが、ここスイスには1万を超えるアルプスの山々があります。ここには、草木風水、大自然の波動があります。スイスでは(例えばお隣ドイツと比べると)町中でもよく大きな樹を見かけます。ウィンタートゥールでもうちの近所に樹齢100年以上の樹々があります。そして夏にリトム湖では、アルプスの雪どけ水によって身心がきよめられ、日本から離れていても我欲我見の異心(ことごころ)が滅べれます。

令和6年、今年はお正月に家族揃って伊勢神宮の外宮・内宮と、お伊勢参りに行くことができました。永遠の中の今を、みなさんと真実の感謝の心を持って、大きな流れの中の「いのち」を生きたいです。



日の出・ウィンタートゥール

#### 編集後記

今年日本の桜も早く、上野の不忍口辺りでは3月9日に既に満開に近い桜が見られました。スイスでも今号校了前の現在、桜が満開ですね。

そんな週末、8地区で「お花見祭り」が開催されていると聞き、土曜日の午後に行って来ました。会場の横には出店が出て、本当に日本の桜まつりのよう。私は迷った挙句焼き鳥、娘は苺大福と三色団子とどら焼き、娘の彼はたこ焼きを選び、楽しみました。喫茶店の前に設けられた八重桜が綺麗でした。新年会で試飲会をしてくれたシズクさんのお酒も出店していました。

桜を愛でながら、お花見をする風習は私達のDNAに深く刻み込まれています。本当に平和で、愛すべき伝統ですね。

日本では物価上昇が肌で感じられるようになっていました。私にとって特に顕著だったのは、今まで安く買った通販のタイツや下着が超高くなった事でしょうか。せめてそれによって、日本の生活水準が少しでも良くなりますように・・・。(SN)

#### 広告掲載のご案内

ジャパクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告の掲載、フライヤー等の会報同封配送を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

#### 伝言板コーナーをご利用ください

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部にてメールにてお送りください。

\*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます

JCZ会報誌エーデルワイス  
2024年4月号

発行責任者: 青砥 玄(会長)

編集: 中東生 阿部 牧子

鎌田 裕子 市居 美帆



\*編集部専用メールアドレス\*  
edelweiss@japanswiss.ch

チューリッヒ日本人会  
JCZ Japan Club Zurich  
Office of Honorary Consul  
General of Japan  
Utoquai 55, 8008 Zürich  
www.japanswiss.ch  
jcz@japanswiss.ch

